

いついかなる時も 戦える自分をつくっておくこと

いつ味方が敵になるかわからぬわけですし
味方の中に敵がいるわけですし
それが戦いというもので、何でもありです
不思議なことは何もありません
あるべくして起こっている
何でもあり、それが戦場です



『アフガンの侍』
(種彦堂)
田中元四郎 著



『日子流体術各種DVD』
(販売 クエスト)

武術の師匠

アフガンのサムライ
田中光四郎
〈日子流体術・小太刀〉宗師



著者(左)とともに